

小島地区ふれあいセンターだより



令和5年11月 第401号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703



11月の行事予定

※毎週月曜日は休所日です。

開催日	行事名	
1日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時~12時
7日(火)	小島地区ふれあいセンター運営委員会	午前10時~11時
10日(金)	子育て教室	午前10時~11時30分
	愛宕3丁目自治会給食会	
11日(土)	小島愛宕地区老人連合会定例会議	午前10時~11時
14日(火)	小島中学校区青少年育成協議会	
15日(水)	すこやか運動教室(生涯元気事業)	午前10時~12時
23日(木)	小島地区民生委員児童委員協議会定例会	午前10時30分~12時
25日(土)	小島地区連合自治会連絡会議	

【お知らせ】

「第32回 小島地区ふれあいセンターまつり」開催の御案内

〔作品展示〕

日時 11月25日(土) 午後1時~4時30分

11月26日(日) 午前9時~午後3時30分

場所 小島地区ふれあいセンター 1階 図書室・児童図書館

内容 ・学習グループの皆さんの作品(俳句、書道、水彩画など)

・小中学校の生徒の皆さんの作品(小島小学校、愛宕小学校、小島中学校)

・保育園の園児の皆さんの作品(小島保育園、愛宕ピノキオこども園、田上保育園、長照寺保育園)



〔舞台発表〕

日時 11月26日(日) 午後12時30分~3時30分

場所 小島地区ふれあいセンター 2階 第1研修室

内容 ・学習グループの皆さんの舞台発表

(コーラス、カラオケ、民謡、三味線、楽器演奏、健康体操、3B体操、太極拳など)

・特別出演(子供日本舞踊)



皆様のお越しを、お待ちしております!!

「長崎くんち 今年の見どころ」講座について

九月三十日(土)に、小島地区ふれあいセンターの主催講座として、講師の土肥原弘久先生(元長崎市長崎学研究所長・KTNテレビ長崎 くんち解説者)による「長崎くんち 今年の見どころ」を開催しました。

三十三名の受講者の皆さんは、土肥原先生から、諏訪神事や神輿守・お下り・お上り、踊町などについて、映像を交えながら解説していただきました。

又、今年の長崎くんちの出し物の紹介や、見どころについても分かりやすく解説していただき、有意義なお話に耳を傾けておられました。



長崎雑話(5) 竹方其

長崎の蝙蝠(一)

長崎の蝙蝠は、日本に棲息する中では唯一の住家性、すなわち、家屋のみをすみかとするコウモリである。

日本では、人間にとって最も身近なコウモリであるといえる。その習性からイエコウモリともいわれる。

長崎では、このコウモリをアブラムシと呼んでいた。この呼称は全国的にも一般的であったとされるが、現在、この名を知っている人は少ない。シーボルトが長崎で入手した標本によって西洋に紹介され、その名称がヨーロッパに渡ることになった。このコウモリは、人家のない山間部には棲息せず、自然洞窟などの記録は、まれにしかない。

一、5cmほどの隙間があれば出入りすることができ、家屋の瓦の下、羽目板と壁の間、戸袋の中、天井裏、換気口など建物の隙間などを主な棲息場所(ねぐら)とする。

夜行性で、昼間はねぐらで休み日没近くから夜間に飛び回る。カ・コスリカ・ココバイなどの小型昆虫を主食とし、ウンカ・甲虫なども捕食する。活動は日没二時間程度が最も活発である。

イエコウモリ



○第4橋 (編笠橋) 今博多町

元禄12年(699)岸村氏夫婦の寄付、寛政7年(1795)大洪水で崩壊。享和2年(802)長崎奉行所の費用で再架設、昭和57年(1982)長崎大水害で崩壊。昭和61年(1986)昭和の石橋として架設。

・今博多町↓「あめがた」町 ・花柳街く顔を隠す(編笠)。

☆映画「解夏(げげ)」のロケ地です。隆之(大沢たかお)と陽子(石田ゆり子)が歩いてきた石橋のある河原、隆之が階段でふさぎ込むシーンでの撮影場所です。

○第5橋 (古町橋) 古町

元禄10年(697)貿易商 河村嘉兵衛と、母妙了尼(ミヨウリョウニ)の私費で架設。享保6年(721)洪水で崩壊。元文4年(1739)僧 周伝により再架。寛政8年(1793)破損、寛政9年(1796)大洪水で崩壊。享和3年(1803)長崎奉行所の費用で架設。昭和57年(1982)長崎大水害で崩壊。昭和61年(1986)昭和の石橋として架設。

☆長崎大水害の復旧工事の最中に、なぜか80mほど上流で、初代古町橋の親柱が発見されました。なぜ上流にあったのかは分っていません。

○第6橋 (一覽橋) 桶屋町

明暦3年(1657)渤海久兵衛、高一覽が募財して架設。(豪商・唐通事)福建省出身。

享保6年(1712)、寛政7年(1795)大水害で流失等。享和元年(1801)奉行所の費用で再架設。

昭和57年(1982)長崎大水害で崩壊。昭和61年(1986)新設。石材は中国福州産花崗岩、石材のみで1億円といわれる。

長崎雑話 (4) 竹方其

長崎の「尾曲り猫」(三)

私たちが一般に呼んでいる猫は、イエネコ(家猫)である。人間に良くなつたため、犬と並ぶ代表的なペットとして、世界中で広く飼われている。犬に比して、猫は飼育開始の時期が遅い。これは、家畜化の経緯の相違による。犬は、狩猟採集民に猟犬や番犬として必要とされ、早くから人の社会に組み込まれたが、猫は、農耕の開始に伴い、鼠害(ネズミの害)が深刻にならない限り、有用性がなかった。人のパートナーと成り得たのは、穀物という「一定期間の保管を要する食害を受けやすい財産」を人類が保育するようになり、財産の番人としてのネコの役割が登場したことによる。又、伝染病を媒介する鼠を駆除することは、結果的には疫病の予防にもなった。初めて人に飼われたネコから、現在のイエネコに直接血統が連続しているか不明確であるが、紀元前三千年頃の古代エジプトで固定化されたものと言われている。俳句でとりあげられる猫は「猫の恋」であろう。恋猫、かれ猫、春の猫、猫の妻、孕猫などと使われている。春は猫の発情期、人間の赤ん坊のような声で鳴き合う。雄が雌を奪い合って大喧嘩することもあり、時に家猫が野良猫との闘いに敗れて帰って来る。可愛い猫たちも野生丸出しとなる。飼っている側としては、真夜中に屋根の上で路地を走り回り大声で鳴かれるのは近所迷惑が気になるものである。当の猫たちは真剣に求愛し闘い傷ついているのであるが、猫の恋はユーモラスであるために、芭蕉の時代より詠み継がれている。

「秋の歴史探訪」(主催講座)開催の御案内

日 時 12月9日(土)

午後1時30分に集合～3時30分頃に解散予定

集合場所 田上バス停(愛宕町経由茂木方面行き・田上1丁目)

解散場所 小島地区ふれあいセンター(愛宕3丁目)

内 容 弥生町界隈の散策

※ 雨天の場合は、小島地区ふれあいセンターで、歴史講話をいたします。

講 師 山口 広 助 さん(長崎游学の会代表、長崎のテレビ番組に多数出演)

受講料 無料

定 員 30名(先着順)

申込先 小島地区ふれあいセンター(電話826-7703)

申込方法 直接来所、又は、電話によるお申込み

(午前10時～午後4時30分、月曜日を除く)

申込日 11月1日(水)～12月7日(木)

皆様のご参加をお待ちしています!!



【お知らせ】

11月25日(土)及び26日(日)は、「小島地区ふれあいセンターまつり」のため、図書室及び児童図書館を休館します。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

研修室利用料金の改定について

令和5年11月1日以降の利用料金(施設使用料、冷暖房費、ガス設備使用料)を、下記のとおり改定します。

利用者の皆様方の負担軽減及び事務の簡素化・効率化を鑑み、1円単位の端数を切り捨てた料金設定にいたします。

種 別	施設使用料		冷暖房費	
	1時間につき		1時間につき	
	現 行	改定後	現 行	改定後
第1研修室	429円	420円	314円	310円
第2研修室	104円	100円	52円	50円
軽スポーツ室	429円	420円	314円	310円
調 理 室	104円	100円	146円	140円

ガスコンロ(1口につき 1時間) 50円

ガスレンジ(1口につき 1時間) リンナイ製 90円、サンヨー製 100円